

主体的に音楽を聴き、味わうことのできる指導の工夫

～伝え合い共感する鑑賞の学習を通して～

1. 設定理由

白井市では9つある小学校で指導方法の情報交換をしたり教具を共有したりと、日頃から協力して音楽教育にとりくんでいる。鑑賞の学習においては、各校これまでも楽曲の特徴をとらえられるようにするために〔共通事項〕を手がかりとしながら聴く活動にとりくんできた。その結果、児童は楽曲の雰囲気を感じ取って体を動かすなどの活動は楽しくかつ自信をもってできるようになってきた。その反面、曲のよさなどを言葉や文で表そうとすると適切な言葉が見つけれず戸惑う姿が見られる。そのため、どの学年においても学習指導要領内容の構成B鑑賞(1)ウ「楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること」の能力を育成するための授業改善をする必要がある、と共通の課題意識をもつに至った。

そこで、曲のよさを言葉や文で伝え合うことが自信をもってできるようになれば、曲の特徴や演奏のよさをより主体的に深く学ぶことができるであろうと考え、どのような手立てを取っていけば鑑賞の活動を通して言葉や文で表す活動、感じ取ったことを伝え合う活動が充実するのかということに焦点を当てることとし、本主題を設定した。

2. 研究仮説

【仮説1】感じ取ったことを曲の流れの中で明確にすれば、楽曲の特徴や音楽を形づくっている要素のかかわり合いに気付き、曲全体を味わうことができるだろう。

【仮説2】友だちと自分の感じたことをお互いに共有したり、共感し合ったりする言語活動を工夫すれば、楽曲のよさや面白さをより深く味わうことができるだろう。

3. 研究内容

○「A-B-A」形式の楽曲を題材とした鑑賞の学習を白井市内の小学校で協力して授業実践し、【仮説1】【仮説2】の検証を行う。

29年度…第1～6学年までの授業実践を行う。

30年度…29年度の成果と課題をもとに、第4学年の授業実践を行う。

4. 結 論

○音楽に合わせて体を動かしたり掲示物を工夫したりするなど、曲の特徴を感じ取りやすくする手立てを積み重ねることが、曲の特徴を根拠にした聴き方や感じ取り方を育てることにつながると実感できた。

○曲の特徴を根拠にした聴き方ができると、自分の感じ取った内容にも自信が生まれ、喜びを感じながら友だちと意見交換したり、自分とは違う考えに刺激をうけたりして学びを深めている姿が見られた。音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけることの重要性を感じた。

印旛支部

白井市立清水口小学校

井上 亜希子

白井市立七次台小学校

野口 里絵

1 研究主題

主体的に音楽を聴き、味わうことのできる指導の工夫

～伝え合い共感する鑑賞の学習を通して～

2 主題設定の理由

児童が音楽のよさを主体的に「聴き取り」「感じ取り」「伝え合う」ためには、音楽を聴いて感動する体験を大切にしながら、思いや意図をもって進んで聴こうとしたり、音楽全体を味わって聴いたりする力を育てていくことが重要である。

白井市では、9つある小学校で指導方法の情報交換をしたり教具を共有したりと、日頃から協力して音楽教育にとりくんでいる。なかでも鑑賞の学習においては、児童が音楽のよさを主体的に聴き取ったり感じ取ったりできるように、〔共通事項〕である「音楽を特徴づけている要素」や「音楽の仕組み」を手がかりとしながら各校で聴く活動にとりくんできた。その結果、楽曲の特徴を聴き取り、よさや面白さを感じ取ることができるようになった児童が多くなってきていると感じている。

しかし音楽のよさを「聴き取る」「感じ取る」ことができるようになった児童が多くなってきた反面、「伝える」ために言葉や文で表そうとすると適切な言葉や表現が見つけられず戸惑う姿が見られる。そして自分たち教員自身も、児童が聴き取ったり感じ取ったりしたことを教員が言葉にまとめる授業方法をとることが多く、子どもたちどうして感じたことを伝え合い共感し合う活動をもっと取り入れることが必要なのではないかと考えるに至った。

聴き取ったり感じ取ったりした曲のよさや面白さを、言葉や文で友だちと伝え合い共感し合う経験を重ねていくことは、同じ考えの友だちと出会って自分の考えに自信がもてるようになるとともに、自分にはなかった聴き方や感じ方に触れることにもなり、音楽をより深く学ぶことにつながっていくであろう。

そこで、鑑賞の学習においてどのような手立てを取っていけば、児童が主体的にとりくみ、それぞれの思いや考えを伝え合ったり共感し合ったりして学びを深めていくことができるのか、そして感じ取ったことを言葉や文で表したり伝え合ったりする活動を充実させることができるのかについて授業実践を通して検証したいと考え、本主題を設定した。

3 研究目標

鑑賞の学習において、児童が聴き取ったことや感じ取ったことを言葉や文で表す活動、伝え合い共感し合う活動を充実させ、学びを深めるためにはどのような手立てを取ればよいか、実践を通して明らかにする。

4 研究仮説について

【仮説1】 感じ取ったことを曲の流れの中で明確にすれば、楽曲の特徴や音楽を形づくっている要素のかかわり合いに気付き、曲全体を味わうことができるだろう。

めざす児童像

曲の特徴を手がかりとしながら、全体がどのようにになっているか見通して聴くことができる児童

そのための手立て

① 音楽に合わせて体を動かす活動を取り入れる。

音楽を特徴付ける要素の変化をとらえることができるようにするために、音楽に合わせて体を動かす活動を取り入れる。曲によってはリトミックスカーフを活用する。

その際、児童個々の感じ取り方で曲全体を味わうことを目的とする場合には、聴くときのポイントを何も示さず自由に感じたままに動くようにしていく。気がついてほしい要素がある場合には、「強弱の変化を聴き取って動きましょう」「速度の変化が伝わるように動きましょう」などのように聴くときのポイントをしぼるようにしていく。

② 楽曲の流れや特徴、楽曲の構造が視覚的に理解しやすいような板書や掲示物、ワークシートを工夫する。

音楽の流れや楽曲の構造をとらえるために、掲示物やワークシートは視覚的に理解しやすくするように工夫する。

- 例：・「A-B-A」の形式をわかりやすくするために、「A」と「B」で模造紙の色を変えた掲示物を作る。「A」と「B」で色鉛筆の色を変えて塗る活動をする。
- ・楽器の写真やイラストを掲示物に貼り、何の楽器の音色かわかりやすくする。
 - ・強弱の変化を聴き取りながらワークシートに線描で表す活動をする。
 - ・その曲で聴き取らせたい要素の変化が視覚的にわかるよう工夫して掲示物を作る。

【仮説2】 友だちと自分の感じたことをお互いに共有したり、共感し合ったりする言語活動を工夫すれば、楽曲のよさや面白さをより深く味わうことができるだろう。

めざす児童像

楽曲の特徴やよさなど、気付いたことを自信をもって主体的に伝え合う児童

そのための手立て

① ワークシートの形式を工夫する。

友だちに伝える意識をもてるようにするために、他教科で学習した形式を取り入れる。

例：・リーフレット形式…曲を紹介するリーフレットになるようなワークシートにする（A4サイズを二つ折りするくらいのリーフレット）。

- ・新聞形式…聴き取ったことや感じ取ったことを毎時間記入することで、最後に新聞ができあがるようにする（A4サイズくらいの個人新聞）。

一人ひとりが記入した小さいカードを貼っていくことで最後に大きい新聞ができあがるようにする（A1サイズくらいのグループ新聞）。

② 共有のし方を工夫する。

児童の実態から、自分の感じ取ったことを友だちに伝えることに自信がもてない様子が見られた。そこで、まず自分と同じ感じ方の友だちと交流することで、共感し合う喜びを感じながら自分の考えに自信がもてるようにする。それから違う感じ方の友だちと交流することで、自分にはなかった聴き方や感じ方に触れて知らなかったことを知る喜びを感じながら学びを深めていけるようにする。

交流する人数も、ペアなどの少人数からだんだんと広げていくようにする。

5 研究実践

研究Ⅰ（平成29年度）

まず29年度に市内6つの小学校で仮説を検証するための授業を行った。授業では児童が親しみやすいA-B-Aの三部形式の楽曲（「始め、中、終わり」）を題材として取り上げた。

第1学年…「おどるこねこ」アンダソン作曲	第4学年…「ノルウェー舞曲 第2番」グリーグ作曲
第2学年…「ゆかいな時計」アンダソン作曲	第5学年…「つるぎのまい」ハチャトゥリアン作曲
第3学年…「メヌエット」ビゼー作曲第	第6学年…「ハンガリー舞曲 第5番」ブラームス作曲

授業実践－①第1学年（池の上小学校）

題材名 ようすをおもいうかべて おんがくをきこう（3時間）

教材名 「おどるこねこ」 アンダソン作曲

指導計画（学習内容と主な活動のみ抜粋）

【仮説1】に関連する内容…ゴシック正体

【仮説2】に関連する内容…ゴシック斜体

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	○曲の気分を感じ取って聴く。 ・最初に聴いて気が付いたことわかったことをワークシートに書く。 友だちと交絡し、お互いの感想を共有する。 ○拍の流れにのって体を動かし楽曲全体を聴く。 ・曲の気分や「問いと答え」、反復に気付く。	○想像力を高める。 ・ 曲名を知らせなかつたり最後の犬と猫の鳴き声の部分をカットしたりして聴く。
2	○「おどるこねこ」の「はじめ、なか、おわり」のそれぞれの特徴を感じ取る。 ・ 曲の構成のそれぞれの気分の違いを体の動きで確認する。	○曲の構成を理解しやすくする。 ・「始め、中、終わり」 それぞれの部分ごとに聴き 、「問いと答え、速度、音色」などを話し合う。
3	○曲全体から感じ取ったことをまとめる。 「問いと答え」「反復」「変化」など 曲を特徴づけている要素を体の動きで表し、曲全体の特徴を確認する。 曲の一番おもしろいところを ワークシートに書き、友だちと伝え合う。 最後に曲全体を通して聴き、全体の特徴や楽しさを味わう。	○ 友だちの考えを共有する。 ・曲の構成や「始め、中、終わり」のそれぞれの特徴や最初みんなの感想、 音楽的要素をまとめた拡大資料をもとに一番おもしろかったところをワークシートに書く。 何人の友だちと伝え合うことができるか、チェックする。

〈成果と課題〉

○学習前に、指導のポイントとなる〔共通事項〕「問いと答え」を意識できるようにするために、**同じ特徴のある「アイアイ」に合わせて体を動かす**ことで「問いと答え」の面白さを感じ取ることができた。

○**付箋を使うことで単語や短い文で書くことができ**、もっと書きたい意欲へとつながった。

△**児童の言葉を全体で共有**することで音楽を形づくっている要素に気付きやすくするとよい。

授業実践②第2学年（桜台小学校）

題材名 「いい音を見つけて きこう」（2時間）

教材名 「ゆかいな時計」 アンダーソン作曲

指導計画（学習内容と主な活動のみ抜粋）

【仮説1】に関連する内容…ゴシック正体

【仮説2】に関連する内容…ゴシック斜体

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	<p>○「ゆかいな時計」の音色やリズムの繰り返しに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の気分を感じ取りながら聴く。 ・感じ取ったことや聴き取ったことを短冊に書く。 ・規則的なウッドブロックのリズムやその変化に気付く。 	<p>○個々に自由に感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲名を提示せずに聴く。 ・気付きや感じたことを短冊に書き、黒板に貼り、友だちと考えを共有する。 ・特徴的な楽器の音色に合わせて体を動かす活動により、それらのリズムやその変化などに気付きやすくする。
2	<p>○曲全体から想像したことや感じたことをワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な楽器の音色を聴き取って体で表現し、その面白さを感じ取る。 ・曲全体の流れや特徴的な楽器の音色を確認し、想像したことや感じ取ったことをワークシートにまとめる。 ・いろんな友だちに自分の書いたことを伝え、お互いに交流をする。 	<p>○曲全体の構造を視覚的にわかりやすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言内容、特徴的な楽器の写真などを曲の流れに沿って整理する。 ・掲示資料をもとに、想像したことや感じ取ったことをまとめる。 ○友だちの感じ方に気付いたり、自分の感じ方を広げたりする。 ・友だちと交流しお互いに伝え合う。

〈成果と課題〉

○**掲示物とワークシートに同じ色の印を付けたり掲示物に楽器の写真を貼ったり**したことで、楽曲全体の音楽の形式や仕組みをわかりやすくとらえることができた。

△音楽に合わせて体を動かす活動では、教員側の**ねらいを明確にし、表現できている児童の動きを紹介**するなど、他の児童が気付くようにすることが大切である。

△楽曲全体の流れを示す掲示物は、**何を中心に聴き取らせたいか授業のポイント**を絞ったねらいにまとめ、わかりやすくするほうがよい。

授業実践③第3学年（大山口小学校）

題材名 楽きの音色や曲の流れをとらえてきこう（4時間）

教材名 「メヌエット」 ビゼー作曲

【仮説1】に関連する内容…ゴシック正体

【仮説2】に関連する内容…ゴシック斜体

指導計画（学習内容と主な活動のみ抜粋）

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	○「メヌエット」の曲想を感じ取って聴く。 ・曲名を知らせずに、 自由に体を動かしながら聴く。 ・感じ取った雰囲気、イメージなどを ワークシート（新聞） に書き、発表する。	○曲想を感じ取りやすくする。 ・旋律の流れや音の高低に合わせ、手などを動かしながら楽曲を聴く。 ・単元を通して書き進める新聞形式のワークシートを使用する。
2	○「メヌエット」の旋律に着目して聴く。 ・だんだんたくさんの楽器が加わり、音色や音量が変化していることや最後は、だんだん楽器が減っていき、速度も遅くなっていくことに気付く。 ・楽曲全体を聴きながら、楽曲の特徴や感じ取ったことをワークシート（新聞）にまとめて、 グループでワークシートに記入したことを発表し合う。	○曲の構成や特徴を確認しやすくする。 ・ 曲の特徴が分かるような掲示物を大きく作って確認する。 ○他の意見に気付き考えようとする態度を育てる。 ・ グループ（4・5人）で自分の感想や気付いたことを伝え合い、友だちの意見を聴いて自分とは違う意見をワークシートにメモをとる。

〈成果と課題〉

○日頃から既習後に〔共通事項〕別に曲名を記入して積み重ねていくワークシートを使用しているため、この題材でも曲の特徴にすぐ気付くことのできる児童が多かった。

△音楽に合わせて体を動かす活動では、ルールを決めて行う必要がある。

例：動く位置（曲のどの部分なのか）を絞って感じ取らせたいことを教員が意図して行う。一人で動くかグループで動くか指示を出す。違いが分かるような動きを促す。

○ワークシートを新聞形式にし全体で共有し合うことを児童に伝えたことにより、友だちに伝えるという意識が高まった。

授業実践－④第4学年（白井第三小学校）

題材名 「曲の流れを感じ取り、全体を味わってきこう」（3時間）

教材名 「ノルウェー舞曲 第2番」 グリーグ作曲

【仮説1】に関連する内容…ゴシック正体

指導計画（学習内容と主な活動のみ抜粋）

【仮説2】に関連する内容…ゴシック斜体

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	○曲全体を聴き、特徴を見つける。 ・ 音楽の速度や強弱に合わせて歩いたり止まったりする などして曲想が変化していることに気付く。 ・曲全体が「始め、中、終わり」の構成になっていることを確認する。	○曲想の変化に気付きやすくする。 ・ 曲に合わせて体を動かす。 ・付せんに感じたこと、気付いたことを書き、 曲のどの部分のことなのか明らかにする。
2	○「始め、中、終わり」の特徴の変化に気を付けて聴く。 ・グループで、速さや強弱が変わったことで	○曲の変化に気を付けて聴く。 ・ 付せんに書いたことをもとにグループで話し合う。

	<p>曲の雰囲気がどのように変わったかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「始め、中、終わり」の特徴を拡大ワークシートにまとめる。 ・特徴を確認しながら曲全体を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような考えをまとめ、よさや面白さを共有できるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○曲全体の特徴や感じ取ったこと、想像したことを紹介文にまとめる。 ・紹介文を発表し合い、友だちと意見を交流するなどして、曲のよさに気付く。 ○曲全体のよさを味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○曲全体の流れが分かるようにする。 ・「始めは…」「中は…」「終わりは…」と書き出しの言葉を例示する。 ○友だちの意見から気付きや考えをもつ。 ・改めて気付いたことなどを書き留めるようにする。

〈成果と課題〉

- 曲の速度や強弱の変化に合わせて体を動かしたことで、その特徴に気付くことができた。
- 「始め、中、終わり」の雰囲気と【共通事項】が見て分かる掲示物で曲の流れや特徴をとらえることができた。
- △知覚と感受の板書の仕方等、工夫が必要である。
- 「始めは」「中は」「終わりは」「一番のお気に入り」は」と**書き出しの文を与えることで流れを意図した紹介文を書くことができた**。
- 友だちと自分の文と比べる**ことで、曲のよさや面白さをより深く味わうことができた。
- △書く内容が多く、文を書くことに苦手意識をもっている児童には負担が大きい。**実際に合わせた複数のワークシートを用意したり、相手意識をもたせたりするなどの手立てが必要**。

授業実践⑤第5学年（七次台小学校）

題材名 曲のおもしろいところを見つけて聴こう（3時間）

教材名 「つるぎのまい」 ハチャトゥリアン作曲

指導計画（学習内容と主な活動のみ抜粋）

【仮説1】に関連する内容…ゴシック正体

【仮説2】に関連する内容…ゴシック斜体

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「つるぎのまい」を聴き、曲想の変化、曲の特徴による面白さを感じ取る。 ・同じ旋律が反復され、曲の流れがA-B-Aになっていることに気付く。 ・曲想や主な楽器の音の変化に気を付けて体を動かしながら聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○変化や特徴を感じ取りやすくする。 ・「始め、中、終わり」の曲の構成を意図して板書する。 ・演奏している楽器について聴き取ったことを板書し演奏の流れを視覚的にわかりやすくする。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○曲の構造に気を付けて聴く。 ・同じ速度で演奏していることに気付く。 ・拍子が増えていることに気付く。 ・曲のよいところやおもしろいところをリーフレットに記入し、その中から自分にとって一番おすすめのところを選び、紹介文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽に合わせて体を動かしながら鑑賞し、曲の流れをつかむ。 ・曲の構造がわかるように、前時の板書に伴奏楽器の流れを付け加える。 ・板書や今までで学習してきたことをヒントに記述する。

3	<p>○「つるぎのまい」のよさや面白さを伝え合う。</p> <p>・リーフレットで一番おすすめのところ同じ部分になった友だちや違う部分になった友だちと交流し、感じたことを伝え合う。</p> <p>○「つるぎのまい」を味わって鑑賞する。</p> <p>・この曲の一番おすすめのところを記入する。</p> <p>・音楽を形づくっている要素のかかわり合いから生まれるよさや面白さを味わって聴く。</p>	<p>○感じ取ったことを伝え合いやすくする。</p> <p>・なるべく多くの児童に自分の感じたことを伝えたり、友だちの感じたことを聞いたりすることができるように支援する。</p> <p>・様々な感じ方を紹介する。</p> <p>・学習のまとめとして鑑賞する。</p>
---	---	---

〈成果と課題〉

- 導入で他の楽曲(「タイプライター」「幸せなら手をたたこう」)に合わせて体を動かすことで、「つるぎのまい」でも合いの手のよさや面白さを感じ取ることができた。
 - 2～3人の少人数で交流をしたので、伝えることが苦手な児童も話しやすくなった。
 - まず**自分と同じ部分について書いた友だちと交流**することで、様々な感じ方があることに気付くことができた。その後、**自分と違う部分について書いた友だちと交流**し、曲の新たな魅力を発見することができた。
- △友だちのリーフレットから学んだことを〔共通事項〕ごとに整理し板書するとよかった。

授業実践－⑥第6学年(南山小学校)

題材名 曲の特徴を感じ取り、曲のよさを味わって聴こう。(3時間)

教材名 「ハンガリー舞曲 第5番」ブラームス作曲

指導計画 (学習内容と主な活動のみ抜粋)

【仮説1】に関連する内容…ゴシック正体

【仮説2】に関連する内容…ゴシック斜体

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	<p>○曲全体を聴き、感じをつかむ。</p> <p>・感想や気付いたことを記入する。</p> <p>・2人組で手合わせをしながら鑑賞し、速度や強弱の変化で気付いたことを記入する。</p> <p>・記入したことを、確かめながら鑑賞する。</p>	<p>○曲全体を感じ取る。</p> <p>・初めの感想や気付いたことを記入する。</p> <p>・手合わせをしながら聴き、曲の特徴に気付きやすくする。</p>
2	<p>○曲の特徴を感じ取って聴く。</p> <p>・曲に合わせて、体を動かす。</p> <p>・曲の特徴や気付いたことについてグループ(6人)ごとにワークシートにまとめる。</p> <p>・グループで曲の特徴について確認し、映像で鑑賞する。</p>	<p>○曲の特徴を感じ取りやすくする。</p> <p>・曲に合わせて体を動かすことで「始め、中、終わり」の形式やその特徴を感じ取り、ワークシートに記入する。グループで話し考えることで、さらに考えを深める。</p>
3	<p>○曲を通して聴き、自分の感じる曲のよさや面白さについてワークシートにまとめる。</p> <p>・曲のよさや面白さをワークシートに記入する。</p> <p>・友だちと書いた内容について伝え合い、友だちの内容を読んで気付いたことを記入する。</p>	<p>○友だちの感じ取ったことを共有し、自分の考えを深める。</p> <p>・全体の掲示物に自分の選んだ場所に付箋を貼り、同じ場所を選んだ人と伝え合ったり、違うところを選んだ人と伝え合ったりして、それぞれの考え方を</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・伝え合っただう思ったか、発表し合う。 ・最後に全員で鑑賞をする 	<ul style="list-style-type: none"> 共有する。 ・友だちの考えを聞いて感じたことをまとめる。
---	---

〈成果と課題〉

△曲の流れがわかりやすい掲示物にするために、あまり細かく書きすぎないことや**色分け、写真の使用**など、内容を精選してすぐ見てわかるものになるよう工夫していきたい。

○曲の流れが分かる掲示物を見ながら、**より面白いと感じたところに付箋を貼ったり、書いたものを互いに読み合ったりする活動を通して、友だちとの共通点や相違点に気づき、友だちの考えを認め合うことができた。**

△〔共通事項〕の言葉を普段から使うようにすることで児童に身近な言葉になるようにしたり、語彙が少なく書くのが不得意な児童には言葉のヒントカードなどを用意したりするとよい。

研究Ⅱ（平成30年度）

29年度の授業実践の成果と課題を受けて、目指す児童像にさらに近づけるような授業内容をめざし研究Ⅱとしてもう一度授業実践にとりくんだ。

その際、研究Ⅰで成果があったと思われる活動や手立ては積極的に取り入れ、課題となった事柄については改善を試みた。

研究Ⅰで成果があったと思われる活動や手立て	研究Ⅱへの取り入れ方
<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴や曲想の変化が視覚的に理解しやすくなるように掲示物を色分けする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「始め」と「終わり」の色を同じにして三部形式であることを理解する助けとする。強弱や速度の変化の様子を線描で表すことで曲想の変化に気づきやすくする。
<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴を意識しやすくするため、同じ形式の歌や曲を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じではないが「トルコ行進曲」（ベートーベン作曲）の形式と比較して三部形式を理解する。
<ul style="list-style-type: none"> ・付箋を活用し書く時間を短縮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付箋の代わりに小さいカードにして書く時間を短縮する→カードをそのまま新聞に貼る。
<ul style="list-style-type: none"> ・「伝える」意識を高めるワークシートの工夫。（リーフレットや新聞の形式） 	<ul style="list-style-type: none"> ・あとで読みあうことを前提にグループで一つの新聞を作成する。
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を特徴付ける要素に気づきやすくするために、音楽に合わせて体を動かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気をつけるポイントを明確にしたうえで音楽に合わせて体とスカーフを動かす。

研究Ⅰで課題となった事柄	研究Ⅱでの改善の仕方
<ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少なかったり人前で話すことに苦手意識をもっていたりする児童への支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちどうしで教え合ったり、人前で話す抵抗感をできるだけ少なくしたりするために少人数でグループ活動をする。（3～4人）
<ul style="list-style-type: none"> ・聴き取ったことと感じ取ったことの区別。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴き取ったことは全体やグループで確認し共通理解する。そこから感じ取ったことを個々のカードに記入し伝え合う。

・ 掲示物にいろいろ書き込みすぎた。	・ この曲で聴き取ってほしい音楽的な要素のみに絞って書き込んでいく。
--------------------	------------------------------------

授業実践⑦第4学年（清水口小学校）

題材名 曲のよさを見つけて、全体を味わってきこう（3時間）

教材名 「ノルウェー舞曲 第2番」 グリーグ作曲

【仮説1】に関連する内容…ゴシック正体

指導計画（学習内容と主な活動のみ抜粋）

【仮説2】に関連する内容…ゴシック斜体

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	<p>○曲全体を聴き、感じをつかむ。</p> <p>・速度や強弱の変化に合わせて歩いたりスカーフを動かしたりして曲想の変化に気付く。</p> <p>・同じ旋律が繰り返された時には同じ動きをする。</p> <p>○個人のカードにわかったことをまとめ新聞に貼ってグループ（4人）で交流する。</p>	<p>○曲全体の特徴を感じ取る。</p> <p>・どう動いてよいか分からない児童には同じグループの友達の動きを真似てみるように声をかける。</p> <p>○個人のカードに、曲の特徴が視覚的にわかりやすくなるよう記入する。</p> <p>・楽曲の構成については色塗りで、強弱や速度の変化については線描で表現する。</p>
2	<p>○グループで楽曲に合わせてスカーフを動かす。</p> <p>・「A-B-A」形式になっていることに気を付けてスカーフを動かす。</p> <p>○強弱、速度、音色の視点から楽曲の特徴をグループで話し合う。</p> <p>・体を動かした時のことをふりかえりながら「始め」と「終わり」に比べ「中」の変化が大きいことに気付く。</p> <p>○個人のカードにわかったことをまとめ新聞に貼ってグループで交流する。</p>	<p>○曲の特徴を感じ取りやすくする。</p> <p>・強弱、速度、音色の変化について、体を動かしたときを振り返りながらグループで確認し、新聞に記入する。</p> <p>○それぞれの変化により、自分はどんなことを感じ取ったか個人のカードに記入したあと、グループで伝え合う。</p>
3	<p>○曲のいちばん好きなところを友だちに伝える。</p> <p>・自分の好きなところとその理由を個人のカードに書き、新聞に貼る。</p> <p>○グループ内で交流する。</p> <p>○他のグループの新聞を見てまわる。</p> <p>・似ている考えの友だち、違う考えの友だちの名前をメモしながら見る。</p> <p>○全体で気付いたことや感じ取ったことを共有する。</p>	<p>○自分と友だちの感じ取ったことを共有し、考えを深める。</p> <p>・思いつかない児童には、前時に確認した強弱、速度、音色の視点から考えてみるよう声をかける。</p> <p>○自分の考えと似ていても違っていても共感的に話を聞く。</p> <p>○学習のまとめとして鑑賞する。</p>

6 研究のまとめ

今回の研究では、音楽を聴いて感じ取ったことや想像したことなどを伝え合い共感するなど、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づけられるような指導の工夫にとりくんだ。

【仮説1】 感じ取ったことを曲の流れの中で明確にすれば、楽曲の特徴や音楽を形づくっている要素のかかわり合いに気付き、曲全体を味わうことができるだろう」として、楽曲全体の流れをとらえるために音楽に合わせて体を動かす活動や、楽曲の流れや特徴、楽曲の構造が視覚的に理解しやすいような板書や掲示物、ワークシートの工夫にとりくんだ。

児童は音楽に合わせて体を動かすことにより強弱や速度、反復など音楽を特徴づける要素の変化に自然と意識が向くようになった。「音楽が見える」という言葉で児童へ働きかけながら示した板書や掲示物、ワークシートは、全員がその楽曲を共通理解する助けとなり、伝え合い活動へとスムーズにつなげていくことができた。

【仮説2】 友だちと自分の感じたことをお互いに共有したり、共感し合ったりする言語活動を工夫すれば、楽曲のよさや面白さをより深く味わうことができるだろう」として、感じ取ったことを言葉に表し、伝え合うためにワークシートの形式や共有のし方の工夫にとりくんだ。

リーフレットや新聞など、他教科で学習した方法を取り入れることで「他者に伝える」意識を持って言葉にする活動ができた。また、友達と交流することを通して楽曲の魅力を再確認したり、新しい魅力を発見する喜びを味わったりすることもできた。

研究を通して【仮説1】の、曲の特徴を感じ取りやすくする手立ての工夫の積み重ねが、児童の曲の聴き方を身に付けていくことにつながるということがわかった。

さらに、【仮説1】が大きな前提となり、【仮説2】が成り立つことが児童の言動や活動、ワークシートの記載内容からわかった。

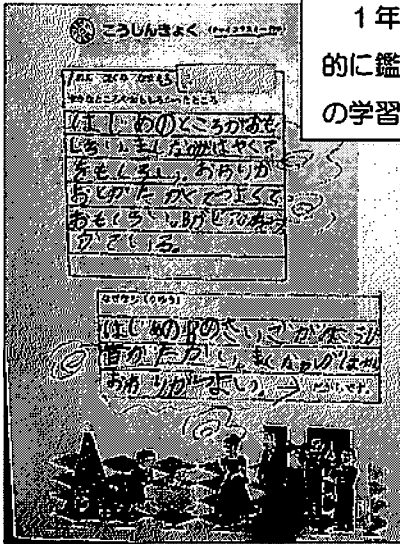
【仮説2】では、曲の特徴を根拠にした感じ方が身に付いていき、根拠が自分の考えや意見の支えとなって自信が生まれている。そこに伝え合う喜びがあり音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置づける重要さがあることが実感できた。

今後は、3つの視点から授業改善を進めていきたい。①児童が自身の学びや変容を自覚できる場面②対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面③学びの深まりをつくり出すために児童が考える場面や教員が教える場面。これらを指導計画の中でどのような手立てでどこに位置づけるかといった明確な視点を持ちながら研究を進め、日頃から意識して授業にとりくんでいきたい。

資料

資料1 (1年生「おどるこねこ」池の上小学校の授業実践より)

1年生ということもあり音楽的な経験がまだ少ないことから、日常的に鑑賞教材を使って導入の工夫をしている。今回は「おどるこねこ」の学習の前に同じ構造の曲を聴かせた。



体を動かしねこになりきって聴いている様子



同じ考えの友だちと伝え合う様子

がくしゅうのながれ

1. さよのこのいいところをかく
(はじめ・まんなか・おわり)
Uのうがわかるひとは、かいてね。
↓
2. おなグループのともだちにつたえる
(わたしたちのこのうたの
Oのうがわかる)
3. ほかのグループのともだちにもつたえよう。
ともだちのうたのうがわかる
ことまで話しかね。

掲示物の工夫

Handwritten notes on a board, including musical notation and text. The text includes 'A → まんなか B → おわり' and 'Aのうた... Bのうた...'. There are also musical notes and a small drawing of a cat.

初発の感想

Handwritten notes in a box, with a small cat illustration. The text includes 'Uのうがわかるひとは、かいてね。' and 'おなグループのともだちにつたえる'.

学習後の感想

Handwritten notes in a box, with a small cat illustration. The text includes 'Aのうた... Bのうた...' and 'Cのうた...'. There are also musical notes and a small drawing of a cat.

交流した人数がわかるように色をぬった

資料2 (2年生「ゆかいな時計」)

桜台小学校の授業実践より



初発の感想

ゆかいな時計の曲が、とても好きです。特に、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。



曲の好きな部分を選び、ワークシートに書く(色で区別)

ゆかいな時計

おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

アンダンテ

おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

ゆかいな時計

おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

アンダンテ

おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

児童のワークシートと交流の様子

ゆかいな時計

おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

アンダンテ

おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

また、おどろきや、びっくりする感じが、大好きです。

資料3 (3年生「メヌエット」大山口小学校の授業実践より)

〔共通事項〕についての積み重ね

11月の音楽祭 63 メヌエット	12月の音楽祭 70 メヌエット	1月の音楽祭 77 メヌエット	2月の音楽祭 84 メヌエット	3月の音楽祭 91 メヌエット	4月の音楽祭 98 メヌエット
5月の音楽祭 105 メヌエット	6月の音楽祭 112 メヌエット	7月の音楽祭 119 メヌエット	8月の音楽祭 126 メヌエット	9月の音楽祭 133 メヌエット	10月の音楽祭 140 メヌエット

楽曲の特徴(導入)

11月	12月	1月	2月	3月	4月
メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット
メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット
メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット
メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット	メヌエット

17 自由「メヌエット」
「メヌエット」のよさを伝え合おう。

	11月	12月	1月
速度	ゆくり	ゆくり	ゆくり
楽器	弦、木管	弦、木管	弦、木管
音色	静か	静か	静か
曲の感じ	静か	静か	静か

曲の構造がわかるような掲示物



グループで伝え合う

ワークシート(新聞形式)

1	2	3
メヌエット	メヌエット	メヌエット
メヌエット	メヌエット	メヌエット
メヌエット	メヌエット	メヌエット

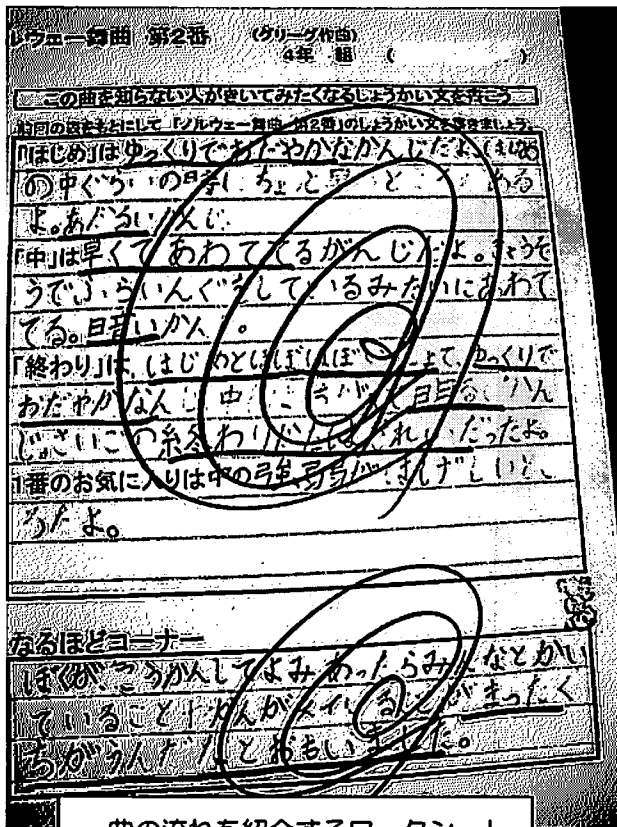
ワークシート(新聞形式)

1	2	3
メヌエット	メヌエット	メヌエット
メヌエット	メヌエット	メヌエット
メヌエット	メヌエット	メヌエット

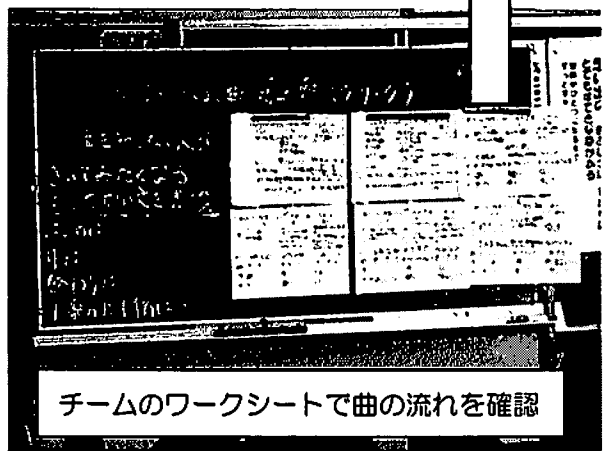
資料4 (4年生「ノルウェー舞曲第2番」白井第三小学校の授業実践より)

曲のとくちようを見つけよう			
	はじめ	中	終わり
曲のふんいじき	なめらかなおたやかのほろほろとした感じがして、花がさいている感じがする。	つよい、はくりやくはげしい元気、はしこる感じ。	なめらかなおたやかのほろほろとした感じがして、花がさいている感じがする。
せんりつ			
音色 (楽器の音)	オーボエ。	オーケストラ。	オーボエ。
強弱 (大きさ)	弱い	強い	弱い
速さ	ゆ、くり	速い	ゆ、くり

チームで作ったワークシート(A3サイズ・ラミネートしてホワイトボードのように使用)



曲の流れを紹介するワークシート
友だちと交流した後で
気付いたことを記入した

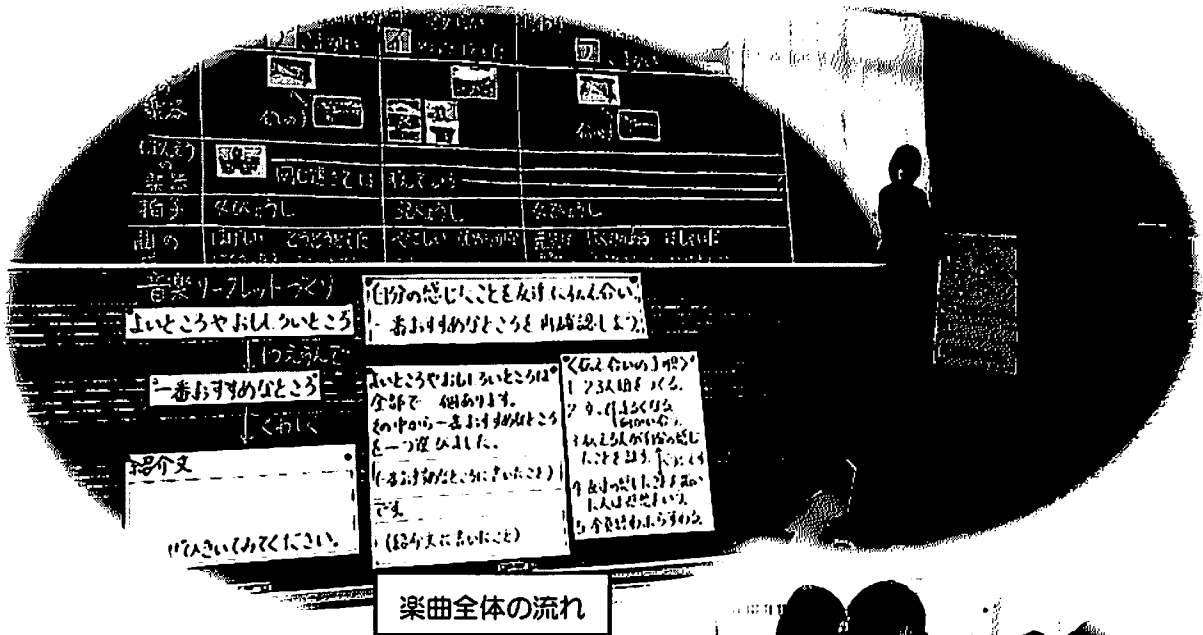


チームのワークシートで曲の流れを確認



音楽に合わせて体を動かす(スカーフ使用)

資料5 (5年生「つるぎのまい」七次台小学校の授業実践より)



楽曲全体の流れ

＜伝え合いの手順＞

1. 2,3人組をつくる。
2. 立って{まるくなる。
(向かい合う)。
3. 伝える人が自分の感じたことを話す。↑くりかえす
4. 友達の感じたことを聞いた人は感想をいう。
5. 全員終わったらすわる。



児童の交流の様子

伝えあいの進め方

よいところやおもしろいところは、全部で 個あります。その中から一番おすすめなところを一つ選びました。

(一番おすすめところに書いたこと)です。

(紹介文に書いたこと)

＜伝え＞

1. 2,3
2. 立
3. 伝え
4. 友
5. 全

つるぎのまいの一番おすすめなところ

誰しよ	中	後
木さん
...

完成したリーフレット
(実際は二つ折り状になる)
※写真は折った内側の面)

資料7 (研究Ⅰの成果と課題を受けて研究Ⅱとして実施した授業実践)

第4学年1組 音楽科学習指導案

指導者 井上亜希子
展開場所 音楽室

- 1 題材名 曲のよさを見つけて、全体を味わってきこう 3時間扱い
教材名 「ノルウェー舞曲 第2番」 グリーグ 作曲(鑑賞)

2 題材について

(1) 題材観

学習指導要領とのかかわり

第4学年 B 鑑賞(1)イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。

[共通事項] ア (ア)旋律 速度 強弱 音色 (イ)反復 変化

本題材は、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取ったり、楽曲の構造に気を付けたりしてそのよさや面白さを見いだしながら、楽曲全体を味わって聴くことをねらいとしている。

中学年では、低学年で身に付けた鑑賞の能力を基にして、曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴くこと、また音楽を形づくっている要素のかかわり合いや楽曲の構造に気を付けて聴き、楽曲全体のよさや面白さを見いだしながら聴く喜びを味わうようにすることが重要となる。そのために、楽曲を聴いて感じ取ったことや想像したことを体の動きや言葉で表したり、気づいたことを友達と伝え合って考えを深めたりしながら楽曲のもつ魅力を味わわせていくことが大切である。

(2) 児童の実態(男子14名 女子18名 計32名)

※うち女子1名は特別支援学級在籍にて音楽の授業には参加しないため31名に調査を実施。本題材を指導するにあたり、次のような実態調査を行った。

	項目	回答	人数(名)
①	音楽をきくことは好きですか。	好き ふつう あまり好きではない	() () ()
②	音楽に合わせて、体を動かすことは好きですか。	好き ふつう あまり好きではない	() () ()
③	音楽を聴くとき、どんなことに気がつくことが多いですか。(複数回答)	音色 旋律 速度 強弱 リズム 曲の雰囲気	() () () () () ()
④	音楽を聴いて、自分がよいと思うところや面白いと思うところを見つけることはできますか。	よくできる 少しできる あまりできない	() () ()
⑤	音楽を聴いて、自分が面白いと感じた理由を言葉で伝える(書いたり話したりする)ことはできますか。	よくできる 少しできる あまりできない	() () ()
⑥	友達と一緒に音楽を聴いたときに、どこが面白かったか聞いてみたいと思いますか。	とても思う 少し思う 思わない	() () ()
	どうしてそう思いますか。		

⑦	とても思う () ・少しそう思う () 友達がどう思ったのか知りたいから。違う意見が聞けると面白い、楽しいから。 友達と自分の考えが同じかそうでないか知りたいから。 自分が思った通りかどうか知りたいから。 色々な感じ方を発見したいから。自分の考えに付け足しできるから。 友達の意見を聞いて考え直すことがあるから。 友達にも音楽は楽しいことだとわかってほしいから。			
	あまり思わない () 自分がどのように思っているかがわかればよい。 自分がその音楽のよさを見つけられなかったら嫌な気持ちになるから。			
	「トルコ行進曲」の感想 (記述式)	〔共通事項〕	人数 (名)	割合 (%)
感受していること	強弱	()	()	
聴取していること	曲想	()	()	
	音色	()	()	
	旋律 (AとB)	()	()	
	反復	()	()	
	速度	()	()	
	変化	()	()	

本学級は子どもらしく活気のある児童が多く、音楽科の学習にも概ね意欲的に取り組んでいる。音楽に合わせて体を動かすことを好み、3年生のときには「茶つみ」や「十五夜さんのもちつき」の歌に合わせた手遊びに喜んで取り組んできた。

実態調査の結果からは、音楽を聴いて自分なりによさや面白さを見つけることはほとんどの児童ができると感じているが、それを言葉で書いたり友達に伝えたりするとなると少し自信がもてない様子が見える。しかし、友だちと一緒に音楽を聴いて、どこが面白かったか相手の感想を聞いてみたいという積極的な考えをもつ児童は多い。「友達の考えは聞いてみたい、でも自分の考えを伝えられるかはちょっと心配…」という現状をふまえ、どの児童も自分なりに見つけた音楽のよさや面白さを言葉にできるような支援が必要である。

「トルコ行進曲」の鑑賞では、多くの児童が強弱の変化に気付くことができた。強弱は中学年の児童にとって聴き取りやすい要素であることがわかる。強弱以外の音楽を特徴づける要素についても、より多くの児童が気づけるように、いろいろな楽曲を聴きながら確かめさせていくことが必要である。

(3) 指導観

本題材では、「ノルウェー舞曲 第2番」を教材として取り上げる。

「ノルウェー舞曲 第2番」はA・B・Aの三部形式になっており、Aの部分の穏やかな旋律と、Bの部分の激しく速い旋律の違いがはっきりしていて、反復と変化が聴き取りやすい楽曲である。AからB、BからAへの急激な変化の面白さも感じ取りやすい。また、Aの部分ではオーボエのソロで演奏される部分もあり、楽器の音色にも親しみながら聴くことができる。以上のことから、子どもなりにこの楽曲の聴きどころについて考え、聴く喜びを味わうことができる教材である。

児童には、まず楽曲全体を聴かせ、音楽に合わせて体を動かすことを通して曲の特徴をつかませる。体を動かすことで、この曲がA・B・Aの三部形式であることや、速度や強弱が変化することの面白さに気付くことができると考える。体を動かして気が付いた楽曲の構造や、音楽を特徴づける要素の激しい変化により感じ取ったことなどは個人でカードに書き、3～4人グループで考えを交流する。交流後、個人のカードはグループで1枚の大きな紙に貼る。この活動を何回か繰り返して、学習の最後には、その大きな紙が「グループ新聞」となり友達と交流しながら音楽を聴き味わった記録として残るようにする。グループで活動し交流する時間を十分にとることで、「自分が曲のよさを見つけられなかったらどうしよう」「自分の考えに自信がない」と感じている児童でも友達の考えを聞きながら自分の考えをもてるようにしていきたい。

また、グループで交流したことを全体で共有する際には、曲のどの部分のことを話しているのか、音楽のどんな要素について話しているのかを確認しやすくするために、曲の流れが目で見えるような掲示物を用意して、曲の構造の理解を助けられるようにする。

最後には互いの「グループ新聞」を見合う。「やっぱりそう感じたよね、同じだね!」という喜び、「へえ、そのことには気づかなかったよ!」という驚きを味わうことによって、音楽を聴くことの楽しさ、友達と交流することのよさを感じさせたい。

音楽を聴いて感じ取ったことや、自分で見いだしたよさ、面白さを伝え合い共感するなどの活動は、新学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で深い学び」につながっていくと考える。児童相互が音楽及び言葉でかかわり合いながら考えを深め曲全体を味わって聴けるようにし

ていきたい。

3 題材の目標

- 速度や強弱の変化による面白さを感じ取りながら、楽曲の構造をとらえ、全体を味わって聴く。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
①楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ②想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとする。	①旋律、速度、強弱、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素のかかり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。 ②曲想とその変化や音楽を形づくっている要素のかかり合いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。

5 指導と評価の計画（3時間扱い）

時間	◎ねらい ○学習内容・学習活動〔共通事項〕	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】
	ねらい：音楽を形づくっている要素を手がかりに、曲の構造をとらえ、全体を味わって聴く。	
第一次	第1時 ○「ノルウェー舞曲 第2番」を楽曲全体を通して聴く。 ・楽曲全体を通して聴き、気が付いたことを話し合う。 ○楽曲の特徴を見つける。 ・ 音楽の速度や強弱の変化に合わせて歩いたり止まったりする、スカーフを動かす などして曲想の変化に気付く。 ・ 同じ旋律の時には同じ体の動きをする。 ○ 個人のカードにわかったことをまとめ、グループ内で交流する。 ○全体で楽曲の構成を確認する。 [速度] [強弱] [変化] 速度や強弱が急激に変化する面白さを感じ取る。 [旋律] [反復] 「始め」「終わり」の旋律が同じであることに気付く。	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】 ・曲想の変化について気付いたことを自由に発表させる。 ・楽曲の速度や強弱に合わせて体の動きを変えることで曲想の変化を確認させる。 ・グループごとに活動することで、体をどう動かしてよいかわからない児童も友達の真似をしながら動けるようにする。 ・「始め」と「終わり」部分は同じ旋律が現れることを確認し、「始め」「中」「終わり」(A-B-A)の構成になっていることを確認する。 ・楽曲の構成と曲想の変化についてわかったことをまとめる。 楽曲の構成は色で、曲想の変化は線でその変化が目で見分かるようにする。 ・個人のカードをグループ新聞に貼りながら 自分と友だちのカードを見比べ、楽曲の構成を再確認する。 ◇(関-①) 楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 【活動の様子の観察 発言の内容】
	○グループで 楽曲に合わせて体を動かす。	・前時の学習を思い出して体を動かすようにさせる。


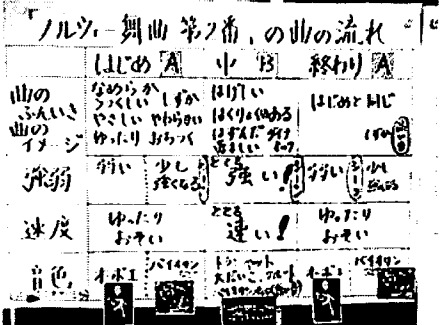

<p>第2時</p>	<p>○「始め」「中」「終わり」の特徴の変化に気を付けて聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーボエの音色について知り、「始め」「終わり」ではオーボエとオーケストラが同じ旋律を繰り返し演奏していることに気付く。 ・音楽を特徴づけている要素がどのように変化したかをグループで確認し、そのことによりどんなことを感じたか個人のカードにまとめグループ内で交流する。 ・全体で気付いたことや感じたことを共有する。 <p>〔旋律〕〔音色〕〔反復〕 「始め」と「終わり」の部分でオーボエとオーケストラが同じ旋律を繰り返していることに気付く。</p> <p>〔速度〕〔強弱〕〔変化〕 速度や強弱の変化によって楽曲の雰囲気が大きく変わること気付く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーボエ役、オーケストラ役に分かれて体を動かし旋律を演奏する楽器が交代していることに気づかせる。 ・ 楽曲のどの部分のことなのか確認しながら書くようにさせる。 ・ 個人のカードをグループ新聞に貼り、それぞれの気付きや感想を発表し合って交流する。 ・ 何人かに発表させる。 <p>◇ (鑑-①) 旋律、速度、強弱、音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素のかかわり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。</p> <p>【活動の様子の観察 記述内容】</p>
<p>第3時・本時</p>	<p>○グループで楽曲に合わせて体を動かす。</p> <p>○個人のカードに、自分が一番面白いと感じたところ一番気に入ったところについて書く。どうしてそう思ったかも書く。</p> <p>○グループ内で交流する。</p> <p>○他のグループの新聞を見てまわる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単にメモしながら見る。 <p>○全体で気付いたことや感じたことを共有する。</p> <p>○楽曲全体の特徴や演奏のよさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲全体を通して聴き、全体の特徴や演奏のよさを味わう。 <p>〔旋律〕〔速度〕〔強弱〕〔音色〕〔反復〕〔変化〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いから生まれる音楽のよさに気付いて味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの学習を思い出して体を動かすようにさせる。 ・ 楽曲や演奏の部分的なよさだけでなく、全体の流れを聴いたうえでのよさにも目を向けるようにさせる。 ・ 思いつかない児童には前時に書いたカードの内容のなからもう少し詳しく書けそうなものを選んで書いてみるように伝える。 ・ 個人のカードをグループ新聞に貼り、発表させる。 ・ 自分の考えと似ていても違っていても共感的に話を聞くようにさせる。 ・ 自分の考えと似ていたか違っていたかを簡単にメモしながら見て回る。 <p>・ 何人かに発表させる。</p> <p>・ 体は動かさないで聴くようにさせる。</p> <p>◇ (関-②) 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさに気づいて聴く学習に進んで取り組もうとする。</p> <p>【活動の様子の観察 発言の内容】</p> <p>◇ (鑑-②) 曲想とその変化や音楽を形づくっている要素のかかわり合いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴いている。</p> <p>【活動の様子の観察 記述内容】</p>

6 本時の指導 (3/3)

(1) 本時の目標

- ・自分で見つけた楽曲のよさや面白さを友達と伝え合うことを通して、楽曲全体の特徴やよさに気づく。

(2) 本時の展開

過程	時配	○主な学習内容 ・学習活動 「発問」『予想される児童の様子』	・教師の働きかけ ◇評価【評価方法】	【共通事項】の扱い
	5	○学習の雰囲気をつくる。	・「今月の歌」を歌う。 ・「トルコ行進曲」に合わせてグループで体を動かす。	【旋律】 【速度】 【強弱】 【音色】
	5	○「ノルウェー舞曲第2番」を体を動かしながら聴く。 ・グループで音楽に合わせて動き楽曲全体の特徴を確かめる。	・前時までの学習を想起させ、音楽を特徴づける要素の変化に気づけながら動くようにさせる。 ・前時までに曲の流れを確認してきた掲示物を示して、学習してきたことを想起させる。	【反復】 【変化】 曲想の変化に合わせて動き方を工夫する。
				
めあてをもつ	5	○本時のめあてをつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">この曲のいちばん好きなのところを友だちに伝えよう。</div>	
見通しをもつ	10	<p>○楽曲全体の流れのなかから、自分が一番「好き」だと思うところを個人のカードに書く。</p> <p>「この曲の、自分が一番好きだと思うところについて書きましよう。好きな理由についても書きましよう。」</p> <p>「始め、中、終わりの言葉をつかとうと相手に伝わりやすいね。」</p> <p>『中で急に速くなるところがびっくりして面白い。』</p> <p>『中と終わりの間にあるしーんとした部分がこれからどうなるのだろうとワクワクして好き。』</p> <p>『終わりのとき、始めと同じ音楽に戻るのがなんだかうれしくて好き。』</p>	<p>・楽曲の構造を意識しながら書くために、「始め、中、終わり」の言葉を用いて書くようにさせる。</p> <p>・思いつかない児童には前時に書いた内容のなかからもう少し詳しく書けそうなことを選んで書いてみるように伝える。</p>  <p>◇(鑑-②) 曲想とその変化や音楽を形づくっている要素のかかわり合いから想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気づいて聴いている。 【活動の様子の観察 記述内容】</p>	<p>【旋律】 【速度】 【強弱】 【音色】 【反復】 【変化】 音楽を形づくっている要素のかかわり合いから生まれる音楽のよさに気づく。</p>

考えを深める

10

○書いたことをもとに**友達と交流する**。

「自分の考えと友達の考えは似ているかな。違うかな。」

『私と〇〇さんの考えは似ている考えだ。なんだか嬉しいな。』

『〇〇さんの好きなところは私と



- ・個人のカードをグループ新聞に貼ってから**交流する**。
- ・自分の考えと似ていても違っていても**共感的に話を聞く**ようにさせる。

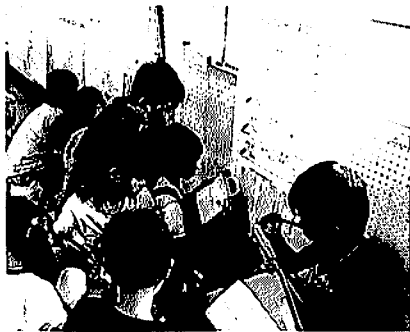
◇ (関一②) 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとする。

【活動の様子を観察 発言の内容】



5

○他のグループの新聞を見て回る。



- ・自分の考えと似ていたか違っていたかを簡単にメモしながら見て回る。

振り返る

5

○学習のまとめをする。

・友達との交流を通して、気付いたこと感じたことを発表する。

『自分と似ている考えの友達だったので嬉しかったです。』

『〇〇さんの好きなところをきいてみたいです。』

- ・何人かに発表させる。

- ・楽曲を通して聴く。

- ・体は動かさずに聴くようにさせる

資料8 (できあがったグループの新聞)

ひまわり新聞 5月号

この夏の思い出

強弱

速度

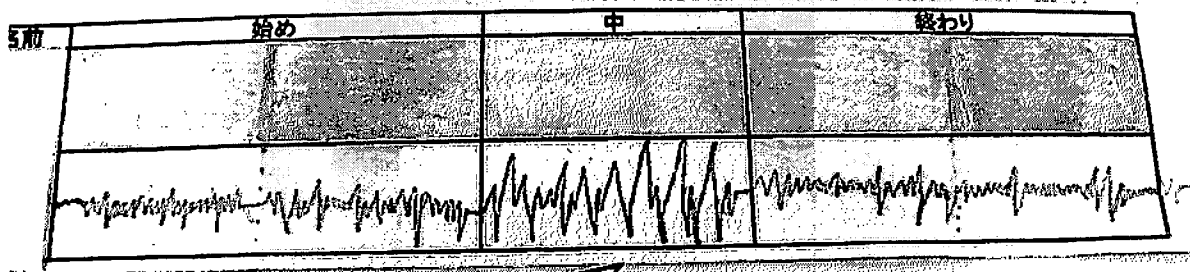
音色

【共通事項】について全体で確認したことを各グループの言葉でまとめた (第2時)

音楽を特徴づける要素の変化により個人が感じ取ったことを書いた (第2時)

曲の一番好きなのところを理由もあわせて書いた (第3時)

資料9



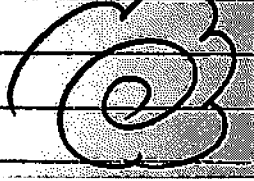
曲の流れを色の塗り分けと線描で表した個人のカード

- …「始め」「終わり」では同じ旋律がくり返されているので同じ色で塗っているが、強弱の変化を聞き取り色の濃淡をつけて表した。
- …「中」の激しい曲想を聞き取り上下に振り幅の大きい線描で表した。

資料10 (「曲の一番好きなところ」)

名前()

はじめの前のほのオボエが
 はじめの後のほうのバイオリン
 になるところが少し音が大き
 くなって少しドキとなるが
 面白い。すき。終わりの前のほ
 うが終わってシーンとなって終
 わったと思。たらまた曲がまた
 つづいてビックリするところだ



名前()

はじめの前のほのオボエが
 はじめの後のほうのバイオリン
 になるところが少し音が大き
 くなって少しドキとなるが
 フルートやバイオリンの音は
 すごくあってしかも太
 いことなど低い音もきこえて
 きて一つの曲にあってい
 らすごくすきにカクキは。

資料11 (児童の姿容)

	学習前	学習後
	「友だちと一緒に音楽をきいたときに、どこがおもしろかったか聞いてみたいです。」	「曲をきいて感じたことを友だちと伝え合いながら学習をしてみて、どうでしたか。」
児童A	「少し思う」人の意見はそんなに聞かなくてもいいかなと思うので。	わたしが気づいていないことや、気づいていたけれどそれをもっとくわしく書いていた人がいたので、今度何かを書くときにまねできるといいです。
児童B	「少し思う」自分はそんなに人に聞くタイプではないから。	音楽の速度や強弱、音色などをしてることができて楽しかったです。いろんなはんの新聞を読む時間がある、読んでると自分と同じ人、にている人、そして自分よりもっとすごい人までいろんな人がいて自分とくらべられたのでよかったです。
児童C	「あまり思わない」音楽のよさを自分がみつけられなかったらいやなきもちになるから。	3年生まで話し合いははずかしく思っていました。でも伝え合いをしたら少しずつ恥ずかしく思わなくなりました。これからもこんなふうに見える日がくるといいです。
児童D	「あまり思わない」自分がどのように思っているかわかればよいから。	思ったことや感じたことをいろいろな人に伝えるのが楽しかったです。いろいろな人の曲の感じ方もわかってよかったです。